

生産者、流通加工事業者の皆様、

消費者安全と流通小売の効率化が同時に進んでいます。



海外では既にかなり進んでいます。
日本と同じ立場の米国への輸出国カナダ
のGS1 CanadaのFSMA204説明動画です。
英語ですが比較的わかりやすいです。

<https://www.youtube.com/watch?v=GriP0lbzSP0>



 2026年1月1日
までに対応が必要です。



食品安全強化法 (FSMA) 204
食品原材料トレーサビリティ
流通コスト削減
店舗 POS2 次元シンボル
多言語などのインバウンド
農作業の安全



～新しい社会での農業活性化を支援します～



一般社団法人 PL対策推進協議会

<https://pl-taisaku.org>



海外、国内ともに品質管理にトレーサビリティは必須になりました。

原材料トレーサビリティと販売後のトレーサビリティ

コロナパンデミック、ロシアや中東、東南アジアなどの紛争による様々な原材料や輸送コスト増、人手不足は極めて重要な問題になっています。さらに北米では今回のパンデミックを某国の食品バイオテロと想定し食品トレーサビリティ法 FSMA204 が発効し、2026年1月から「24時間対応」を求められる時代、我が国でこのことに今すぐ対応できるのがご案内するクラウドシステムです。牛肉などのB2Bトレーサビリティは商取引のある特定の事業者間のことであり、今後は加工した後、消費され廃棄に至るグローバル社会での全プロセスを対象とした対応が必要になりました。

消費者の安全を確保（被害未然防止）のためにトレーサビリティが必要です。

生産者



流通加工事業者



消費者



原材料トレーサビリティ

原因究明
再発防止

PL法上の
責任主体

FSMA204 24時間対応

販路と消費者トレーサビリティ

購入者・使用者への通知
消費者の被害未然防止

確実な回収や廃棄

このために

流通システムでの自動認識用バーコード (JAN) 専用の QR コード
移行が進んでいます！



安全点検アプリ
scodt で始まっ
ています！

GS1 2D



scodt Android 用
アプリ対応



scodt iOS Android
アプリ対応

動作見本 | JAN+Lot+URL で
構成されています。

LOT 管理ができないと出荷した全製品が対象になります。

生産者・加工事業者や消費者に伝えたい！
これもスマホが有効な手段になります。

国内で最も早くこの動向に注目、 2016年より実用化を進めています。

Safety Check On-Demand Technology (SCODT)

安全点検アプリでは GS1 標準のバーコードを利用し、誰でも簡単にスマホで安全確認、生産者や加工・表示製造者が自らシステムに登録した情報をリアルタイムで配信されます。もちろん、FSMA204 の 24 時間対応も行えます。

PL 法や製品リコールの専門家が開発したシステムです。



GS1 2D
scodt

イメージ動画をご参照ください。



https://pl-taisaku.org/?page_id=2823



イタリア製
オリーブオイル
表示ラベル



こんなことも起きています！



無農薬のはずが隣の畑でドローンで散布されたものが入った！

農家が畑で収穫し、洗浄、カット、箱詰めなどをすると「製造物」となり、その物が原因で流通小売事業者、購入消費した人などに損害が発生するとその責任を負うこととなります。北米では食品飲料などは FDA、非食品飲料は CPSC という連邦政府機関が厳しい対応を行います。日本と異なり世界では販売者の責任が厳しく日本もその方向に安全政策を強化しています。B2C トレーサビリティができないまま出荷することは加工食品も含め大きな経営リスクになりました。

導入サポート・コスト概要について

- ① 一人の農家でもご家族や地域でデザインやパソコンを使える人がいれば全て解決！
- ② 今利用されている印刷会社、組合なども対応できます。
- ③ ご指導などは全て当団体にお任せください（無料）。
- ④ 特に zoom のできる方であればスムーズです。
- ⑤ 費用については別途ご案内しますが、現在は月間 5,500 円（売り上げ 10 億円未満）で、何件でも利用できます。
- ⑥ 市販ラベルで 65 面付け /A4（22 枚入 1,200 円ほど）でご自身のプリンターで出力するとラベル 1 枚当り役 0.8 円です。



A-one 65 面付け印刷見本

HACCP をさらに進めた食品安全強化と流通システムの改革

丁寧にそして鮮度を保ち作物を生産することは日本の古くからの素晴らしい伝統であり多くの経験に基づいたものづくりです。それでもラベルの貼り間違い、機械の破片や農薬の混入などでの不具合が生じます。今は食品を利用したバイテロの脅威が加わり、それらの対応は迅速なリコールがなくトレーサビリティが重要になりました。このため流通小売側でのGS1 2Dが進んでいます。

品質管理のDXによる経営効率化＝仕入れ購入する側の安心！



説明の必要なものほど他言語で伝える事で、正しく安全にご利用いただけます。



GS1QR
scodt®

新潟県で無農薬のお米の例です。ホームページも不要で手書きのPOP、証明書などが閲覧できます。



製品の本体やパッケージのGS1 2D scodtを確認するだけで、仕入れて販売する側の説明責任やリコールなどの負担軽減が明確になるので採用しやすくなります。

製品の安全安心の基本はPL対策の理解から

50歳未満の多くの経営者や社員はPL法もリコールのことも具体的に知識を持っていません。これまでの製品の安全に関するの歴史や販売方法など、激変する法律や社会環境の変化、製品事故やリコールについての知識を得て、その解決策を学ぶ教育プログラムです。合格後も継続して講習などを行いますから、社員教育、企画、設計、製造、品質保証、コールセンターなどの専門性を高めるためにご利用いただいています。

専門家育成
詳しくはこちら



https://pl-taisaku.org/?page_id=2502

業界・業態、縦割りの垣根を越えて消費者基本法に準拠した安全確保を！



会長 渡辺吉明

R&Dスペシャリスト
一社) PL研究会副会長

当協議会は日本では唯一の製品の安全安心に関する行政法、技術基準、PL法、消費者関連法、また製品リコールなどを一般社団法人PL研究会と連携して本質的な安全安心を進めています。当協議会会長はこの学会の設立者で副会長であり、製品リコール研究者として、国や安全学、信頼性工学、食品リコールなどの国内での第一人者の立場として研究を行っています。右の書籍やこの協議会のシステムの要素技術特許権者でアプリやシステムの開発者であります。

APL メルマガと PLnews

<https://pl-taisaku.org/?p=5347>

<https://www.itm-asp.com/form/7277>



最新の PL や GS1 標準、セミナー、シンポジウムなどの情報を提供しています。

専門書籍の出版

取扱説明書ガイドライン・最新！ PL 対策解説書



プロフィールや論文などは>>
https://pl-taisaku.org/?page_id=2487



一般社団法人 PL対策推進協議会 (略称APL)

本部 (事務局) 所在地

982-0823 宮城県仙台市太白区恵和町35-28

電話 050-6865-5180 FAX 022-247-8042

E-mail c-japan@pl-taisaku.org